透析室の現状と未来

鳥　谷　美世枝

キーワード：オンライン血液濾過透析 (OHDF)；透析通信システムフュチャーネットウェブ (FNW)
（雲南市立病院医学雑誌　2019; 16(1): 68-70）

はじめに

2018年３月新棟オープンに伴い透析室は、旧棟の２階から本館棟の２階の西棟に移転しました。移転と共に、最新の日機装社製のDCS-100NX透析監視装置・人工透析機（コンソール）が11台導入となり、個人機も１台増設され２台となり、バージョンアップされた既存の２台のコンソール、合計14台コンソールが設置されました。14台全てのコンソールでオンライン血液濾過透析（online hemodialysis-filtration、以下、OHDF）治療を行うことが可能となりました。

維持透析の現状

現在14台のコンソールを用いて透析治療患者さんにOHDFを行っています。このOHDFは、従来の血液透析と比較して、透析困難症や透析アミロイド―シスに対する効果が期待される比較的新しい治療法です。OHDFを行うためには厳しい透析液の水質管理が求められます。OHDF治療を行えるように積極的に透析液の清浄化に取り組み、毎月の水質検査を行っています。透析液のエンドトキシン活性値／生菌数は、ともに日本透析医学会の規定する超純水透析液の基準値をクリアしています。維持透析治療だけでなく、救急時重症患者さんの持続的血液透析濾過法（continuous hemodialysis-filtration、以下、CHDF）にも対応しています。

2018年12月からは透析通信システムフュチャーネットウェブ（future net web、以下、FNW）が導入となりました。患者情報・透析条件を入力することで、体重計とコンソールとの連動により体重の自動計算が可能となり、バイタルも自動入力になりました。FNWにはほかにも様々な機能があり、コンソールの画面から患者の透析条件やその日の投薬内容を確認することも出来き、行った処置・愁訴もコンソール画面からパソコンに送ることが出来るようになりました。開始時のダブルチェックの際にはFNWの開始チェック項目を使用することで、患者さんの安全な透析環境を提供するために大変役立っています。今後FNWの機能をさらに利用することで、患者さんの透析効率の把握やシャントの管理や年一回の全国の透析患者の把握や統計調査などにも活用していきたいと思っています。

運営体制

2017年７月からは、停止していた火・木・土の透析治療が再開となり、現在透析治療は月・水・金は午前・午後２クール、火・木・土は午前１クールで行っています。2019年４月からは、臨床工学士も増員され２名体制となり、医師・看護師と共に透析患者さんの安心・安全に向けて透析治療の向上目指して、日々の透析治療を行っています。患者さんは週３回の４時間の透析治療のため時間の拘束を余儀なくされます、安全・安心の透析治療を行うことはもちろんですが、患者さんの個別性を尊重し、コミュニケーションを大切にして患者さんが笑顔になれるようアットホームな環境を目指しています。緊張度の高い部署ですが、笑顔とやさしさを心がけています。スタッフ同士情報の共有化を

雲南市立病院看護部透析室看護科
著者連絡先：鳥谷美世枝　雲南市立病院看護部看護科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

し、日々のカンファレンスを充実させています。定期的に医師を交えたカンファレンスを行うことでさらに情報の共有化をし、チーム力を向上させています（**図1**）。

サービス向上に向けて

新棟の透析室入り口には　患者さんや御家族などの付き添いの方も含めゆったりとくつろぐ場所としてラウンジを設けました。 週３回の通院や治療前後の休憩や食事を行う事ができます。患者さんの状況によりますが、条件にあてはまる患者さんに対し透析送迎サービスも提供しています。その他希望があれば、昼の弁当を注文することも出来ます。また旅行や帰省、仕事等で透析治療を必要とされる方のゲスト（臨時）透析に対応しています。このように、患者さんの必要度に合わせより良い環境や体制を目指しています。

今後に向けて

今後の透析室において、全ての患者さんに満足して頂けるよう安全で安心な透析治療の提供を継続し、多職種と連携をとり、より良い透析治療のためチーム医療を行っていきたいです。

図１　透析室のスタッフ

Present status and future perspective of the dialysis class in Unnan City Hospital.

Miyoe Toya

Dialysis class, Department of nursing care, Unnan City Hospital
Correspondence: Miyoe Toya, Department of nursing care, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp